

第16回 町田市市民協働フェスティバル 「まちカフェ！」実施報告書

2023年3月31日

作成:まちカフェ！事務局

(一般財団法人 町田市地域活動サポートオフィス)

目次

I. 実施目的と概要	P2－P5
II. 広報実施報告	P6－P13
III. まちカフェ！イベント報告	P14－P22
IV. 実行委員会等実施報告	P23－P24
V. まちカフェ！オープンデー&プチ講座報告	P25－P26
VI. 学生おうえん隊実施報告	P27－P30
VII. ヒアリング報告	P31－P35

I. 実施目的と概要

1 事業名称

第16回町田市市民協働フェスティバル「まちカフェ！」

2 実施体制

主 催:第16回町田市市民協働フェスティバル「まちカフェ！」実行委員会
(以下まちカフェ！実行委員会)

共 催:町田市市民協働推進課

事務局:町田市地域活動サポートオフィス

3 事業の目的

- ① 地域で活動する団体や個人が新しい事業や活動にチャレンジする。
- ② 地域で活動する団体や個人がチャレンジを通じてスキルアップする。
- ③ 活動団体、市民、行政等が出会い、交流し、協働する。
- ④ 市民が地域の活動を知り、活動を始めるきっかけとなる。

4 開催概要

日時:2022年11月26日(土)~12月4日(日)

会場:市役所・市内各地の会場およびオンライン

主催:まちカフェ！実行委員会 共催:町田市市民協働推進課

テーマ:仲間とつくる新たな未来 ~エールをつなごう心のブレンド~

5 広報実施概要

チラシ配布、ホームページ・SNSでの情報発信に加えて新たな試みとして、町田マルイ・町田モディ・小田急町田駅の各掲示板へのポスター掲示及びオリジナルクリアファイルの作成・配布を行った。

詳細は、本報告書 P6~P13

6 まちカフェ！実施概要

(1) イベント

- ①開会式 11月26日(土)、9時50分から市庁舎のステージにて開会式を執り行っ

た。市長挨拶、実行委員長挨拶、市長・実行委員長による竹灯籠「ともにとす 100 のあかり」への穴あけ

②各団体主催イベント

- ・オンラインイベント 2 件、リアルイベント 92 件

内訳：市庁舎で開催したイベント 75 件（11 月 26 日 66 件、その他日程 9 件）

その他の会場で開催したイベント 19 件

協働で開催したイベント 19 件

詳細は、別紙資料① イベント一覧

(2)来場者数

市役所会場（11/26）	5,650 名
11/26 以外の市役所会場、市内各所開催イベント	3,862 名
	<u>合計 9,512 名</u>

7 まちカフェ！実行委員会・協力団体（別紙 資料①）

(1)実行委員会の構成

参加団体、おうえん隊(企画等を実施するボランティア)、事務局で構成される。

- ・構成内訳

冊子掲載 105 団体、企画実施 91 団体、おうえん隊 30 名、学生おうえん隊 18 名
事務局(町田市地域活動サポートオフィス)

- ・役員

実行委員長 安倍正浩

副実行委員長 大月徹、加藤賢行、広田悠大

監事 紫桃弘美

(2)協力団体・個人

- ・広告協賛：21 法人（105,000 円）
- ・場所提供：1 法人（COMMUNE BASE マチノワ）
- ・まちカフェ！の売り上げ寄付：参加団体 2 団体（7,600 円）（別紙 資料④）

8 実行委員会等開催概要

<開催実績>

- ・準備会1回（オンライン）
- ・実行委員会3回（6月/対面、9月/オンライン、10月/対面）
- ・まちカフェ！アワード表彰式・交流会1回（対面）

<その他>

- ・実行委員会メールマガジン配信22回

詳細は、本報告書 P23-P24

9 まちカフェ！オープンデー・スキルアップ講座開催概要

毎月原則第1木曜日、市役所2階市民協働おうえんルームにて地域活動のつながりの場「まちカフェ！オープンデー」を5月～12月の期間8回開催し、のべ207名が来場。オープンデーにあわせて各種スキルアップ講座を開催した。

詳細は、本報告書 P25-P26

10 学生おうえん隊開催概要

18名の大学生を9団体にマッチングし、イベントの準備や当日の運営支援を実施。フォローやサポートを町田市地域活動サポートオフィスと参加団体のへりぼーとが担った。

詳細は、本報告書 P27-P30

11 出展団体へのヒアリング結果概要

実行委員会参加団体のうち10団体に本年度の振り返りと改善点をヒアリングした。まちカフェ！をきっかけに「新たな事業開発に取り組んだ」、「事業に主体的に参加するメンバーが増えた」、「会議で意見交換が活発になった」、「協働事業に取り組んだことで新たなターゲットへの周知につながった」という意見があったことから、まちカフェ！の目的が達成できた。

詳細は、本報告書 P31-35

12 出展団体へのアンケート結果概要

出展団体105団体にアンケートを実施。回答数:70団体

他団体との協力関係・協働が生まれたという回答は、あわせて全体の82%で今後

協働していきたいという回答は 93%にのぼり、まちカフェ！の目的④の達成につながった。また、「団体に変化があった」という回答が 54%となり、具体的には、団体内部のコミュニケーションやモチベーションが高まったという声があり、目的①、②も一定程度達成できた。

詳細は、別紙資料⑤「第 16 回町田市市民協働フェスティバル「まちカフェ！」アンケート報告書」参照

13 来場者へのアンケート結果概要

回答数:381 件

30 代以上の参加者については、各年代 13.6~18%と近似の割合となっており、一番多い世代は、70 代で 18.6%だった。一方で、20 代が 3.9%と少なかった。また、「はじめてまちカフェ！に来場した」という回答が 65%にのぼり、新たな層へのアプローチもできたことからまちカフェ！の目的④が実現した。

詳細は、別紙資料⑥「まちカフェ！来場者アンケート 2022」参照

14 総括

本年度は、新たに「まちカフェ！オープンデー」を実施するなど、協働の促進を継続的に進めた。その結果、協働事業が 19 件実施され、9 団体が学生との協働事業に取り組んだ。

また、3 年ぶりの市役所会場での大規模開催（11 月 26 日）と市役所や団体の拠点などを活用した複数日程開催（11 月 26 日~12 月 4 日）の両方を実施。初めてイベント等を出展した団体が 36 団体あり、活動団体のすそ野が広がった。

来場理由として「家族で楽しめるから」が 22%にのぼり、30 代、40 代は、小学校低学年、未就学児を連れた家族が多くみられた。一方で子育て世帯以外の若い世代の参加者は少なく、若い世代が参加しやすい、参加したくなるプログラムの開発が必要である。

Ⅱ. 広報実施報告

1 目的と背景

まちカフェ！の開催情報や団体活動の成果を広報することを目的として下記を実施。昨年度同様タウンニュース町田、ショッパーへの掲載に加えて、武相新聞にも開催情報が掲載された。

新しい試みとして①町田マルイ・町田モディ・小田急町田駅の各掲示板への A1 サイズポスター掲示、②キービジュアルを入れたクリアファイル（裏面は広告）の作成・配布を行った。広く市民へまちカフェ！の開催情報を周知することでまちカフェ！の認知拡大につなげた。

また、昨年度の実行委員会内で「まちカフェ！当日だけではなく、日々の活動の中で団体同士つながり合い・高め合うことができる場（まちカフェ！365日）」が提案された。その実現の一歩として、月 1 回、市役所 2 階市民協働おうえんルームで「まちカフェ！オープンデー」を開催（詳細は P26-P27 参照）。場を開き、開催情報をホームページや SNS でシェアすることで、今までまちカフェ！に接点がなかった方への周知も実現できた。

2 実施(掲載)内容

媒体名	掲載日・号	発行部数
広報まちだ	5月15日 11月15日	各約10万部
ショッパー	11月11日	81,700部
タウンニュース町田	11月24日	約22万部
武相新聞	11月26日	約12万部
ポスター（A1サイズ）掲示		町田マルイ・モディ掲示板：6枚 小田急町田駅掲示板：1枚
まちカフェ！クリアファイル （裏面が広告のため制作費ナシで実現）		3,000部
町田市ホームページ	随時	—
町内会の掲示板	11月中旬	約2,000箇所
サポートオフィス通信	9月-2月号	各1,500部

まちカフェ！イベントチラシ	—	23,000 部
まちカフェ！協働ガイドブック	—	1,000 部
媒体名	掲載日・号	発行部数
まちカフェ！専用ホームページ	随時	—
まちカフェ！公式 facebook	随時	—
まちカフェ！公式 twitter	随時	—
サポートオフィスホームページ	随時	—
サポートオフィス facebook	随時	—
サポートオフィス twitter	随時	—
サポートオフィスメールマガジン	月 1-2 回 ほど	—
その他、参加団体の各広報媒体への掲載		

▼取材記事の掲載例 (武相新聞 11月26日付)

がある場合 スクの着用 ず。

バックキヤ 店舗で1万 相模原 申し込み 押しした 冊に貼付 ムページ

4日まで、 相模川 オウギバ フィラノサ 虫の化石 も、月曜休

チ&野球 相模 行 野球ある ちゅんね 未一 11.com 4時、中 野辺辺駅、法律、生に 同ラウン

ン・パンジ 市校所本 7の品評

場あ い。

ろことも (ホール) 日午後5時(北コ 日連盟)ティ 後1時〜。

ひ女性ユ け=30日 の。本・歌(要事前 曲・演歌、日午後1時 うたこえ



3年ぶりに復活する市役所会場 (過去の開催)

「鎌街山ノ道」歩こう 来月3日 現地で受付

「まちカフェ」×鎌倉古道・歴史遺産の会

「まちカフェ」のワオ キンイベントが12月

「まちカフェ」のワオ キンイベントが12月

3日に開催される。鎌倉 古道・歴史遺産の会と市 民生活安全課事業の「三 水企画で、古街道研究家 の宮田太郎さんと、境川 に沿う「鎌倉街道山 ノ道」をたどる。 当日は、集会所の小 田急線町田駅東口カリー ン広場で町田警察署によ る交通安全講話を受け、 同広場から船の道標前 を出発。「鎌倉武士・品 山重忠も馬掛けた。鎌倉 街道山ノ道、町田の大高 野街のものになった鎌倉 時代の古道」をテーマ にかいどウォークを楽し みながら、境川沿い遊歩

詳細は同会ホームページ
<https://kanakura.kado.jindofree.com>

まちカフェは、町内会 ・自治会や、市内中心 に活躍するNPO法人 (心のフレンド)に 所属するボランティア 団体が主催。16回 目を迎える今回のテー ーマは「まちカフェ」

町田市民協働フェス 来月4日まで 過去最多94団体参加 きょうから「まちカフェ」

町田市内のさまざまな団体が発表を通過して交流を深め、市 民に地域活動のきっかけをもつイベント、市民協働フェ ス「まちカフェ」(実行委員長 市市民協働推進共他) が26日、市役所会場(森野)からスタートする。12月日まで、 市の緑色ライオンア ヅ(30日)市役所でも 予定して「市民協働」 を見せる。 今年も、過去最多の94 団体が参加。その内、3 年ぶりに復活するスピン の市役所会場(午前10時 から午後4時)には76団体 が出展する。従来の「ア 形式での展示・販売に 加え、誰もが楽しめる交 渉型イベント(多様 性)の催しとして、ス ポーツや映画上映、ワケ ショップなどの体験型イ ベントが盛り込まれた。 ユニカル(陸のカー リンギ、ポッチャバ ラリンピック競技、丸 本切りの、宝石けん洗剤 &アロマフレアワーク ショップ、ちぎりの絵、明 日から使えるローワイ ンをはじめ、多種多様な デルが参加するワークショップ まで。 市役所会場で約30件のイ ベントも予定。フードド ライフ強化月間(期間中 に町田市立室内プール? 階受け付け)や、ウオ ーキング(12月3日)な どが開催される。 まちカフェ実行委員の安 倍浩吉委員長は「出展者 も来場者も参加しやすい 環境を整えるまち」

産後ケアル午前11時、 午後7時〜など多彩な 催しを用意される。 そのほか、町田市の野 菜販売や手作り小物販 売(アール・シーも商店街 プースからなる「マルシ エ・販売」目や認知 症、きじよの本棚など の「トックセーション」 相談コーナーもある。 町内各所で約30件のイ ベントも予定。フードド ライフ強化月間(期間中 に町田市立室内プール? 階受け付け)や、ウオ ーキング(12月3日)な どが開催される。 まちカフェ実行委員の安 倍浩吉委員長は「出展者 も来場者も参加しやすい 環境を整えるまち」

町田 景品総数950本 外れなし福引

「まちカフェ」実行委員 景品総数950本、外れなし福引。期間は、同商店会で 買入物をしレジが 対象で、千円以上1 回、3千円以上2回、 5千円以上3回、1万 円以上5回、抽選が受 けられる。抽選会は12月 4日、東急インズE&A S.T.銅像前の特設会場 で 行う。 同商店会は「クリスマス スマイルネーションも実 施していきますので、年末

ことばさがし

11月5日付 掲載。 当週の出題は景品の 答えを 個人参加は景品の 答えを 個人参加は景品の 答えを

ま	べ	い	じ	ろ	な	に	し	べ	い	な	ぞ	ろ	ま	が
ま	べ	い	じ	ろ	な	に	し	べ	い	な	ぞ	ろ	ま	が

(上:タウンニュース町田 11月24日号/下:ショッパー町田 11月11日号)

神奈川県全域・東京多摩地域の地域情報紙

タウンニュース

会社案内 IR情報 事業

のぼり屋さんドットコム

【激安】オリジ

ホーム 横浜 川崎 相模原・東京多摩 県央

町田版 掲載号: 2022年11月24日号

協働イベント

3年ぶりに市庁舎開催

「密避け」が奏功し充実

社会

16回目となる町田市市民協働フェスティバル「まちカフェ！」が11月26日(土)～12月4日(日)、町田市役所や市内各地、オンラインのハイブリッド形式で開催される。コロナ下での縮小・分散開催を経て、3年ぶりに市庁舎でも開催。また、初めて市議会議場でイベントを実施する。

過去最大90超の出展

市内で活動するNPO法人や市民活動団体、地域活動団体など、約90団体が



会場となる市庁舎前で実行委員会のメンバーら

ショッパー

八王子市 日野市 町田市 相模原市 記事検索 広告について お問い合わせ

イベント 町田市

第16回 町田市市民協働フェスティバル「まちカフェ！」

11月26日(土)～12月4日まで開催!



ふぞろい野菜を食べて農家さんを応援!

形が変わっている、皮の色が一部ちがう。そんな理由で捨てられる食材。らでいっしょぼーやではふぞろいだけと美味しい有機・特別栽培野菜をお手頃価格で皆様のもとにお届けしています。

ふぞろい野菜セット 1,980円

人気記事

- 高幡不動尊で初不動大祭と節分会がとり行われます
- 見て・触れて・体験できる「働く乗り物大集合!キッズパークたまどうまつり2023」開催!
- 『こがさかベイク』がヘーカリー&パティスリーを開始!「鶴川駅前店」7月1日グランドオープン!

タイ古式マッサージの『ASUESTA』相模大野店オープン!

© 2022.11.11

リアルとオンラインのハイブリッドで、過去最大の94団体が出展し、2019年以来3年ぶりに市庁舎でも開催します。今年は、来場者がより楽しめるよう、従来のブース形式での展示や販売だけでなく、スポ

▼「まちカフェ！」イベントチラシ（事前配布用）



今年度は、11月26日開催 | 市役所会場イベントとそれ以外のイベント併せて94のイベントが行われた。

そのため、これまではA3サイズのチラシを二つ折りにしていたが、今年度は十文字折加工、8面で情報掲載ができる体裁に変更。イベント情報の概略をチラシでつかんでもらい、詳細はホームページへのリンクを掲載するスタイルを採用した。

公共施設や市内保育園・幼稚園での配布と共に、今年度は市役所近隣の小学校にも配架を行った。

▼まちカフェ！イベントポスター掲示事例

@町田モディ掲示板（左）、町田マルイ入り口通路（右）



@小田急町田駅掲示板「町田みんなのプラットフォーム」



▼11月26日市役所イベントタイムスケジュールとフロアマップ（当日配布用）

当日は計 66 件のイベントが開催された。議場を含む1～3階の会議室や廊下をイベント会場としたため、当日の誘導や案内がしやすいようにタイムスケジュール形式の開催案内とフロアマップを事務局で作成し、来場者にも配布した。

▼「まちカフェ！」協働ガイドブック

団体間交流を更に深めるための情報が必要という声を受けて作成を始めた本ガイドブック。冒頭には「地域活動にイチ押し！ 町田市内にあるレンタル施設・スペース」を特集。市内の公共施設や民間施設の情報を計18箇所掲載した。地域・市民活動団体を知っていただく一助となるよう公共施設への配布・配架を行った。また年間を通じて団体間交流や協働をする際の資料として活用するよう、参加団体へも5冊ずつ配布した。



<掲載内容>

●コラム

地域活動にイチ押し！

町田市内にあるレンタル施設・スペース

●「まちカフェ！」参加団体紹介

団体の強み(資源)と求めていることを記載。団体間で協働相手探しの資料としても活用された。



▲協働ガイドブック中面

▼「まちカフェ！」専用ホームページ



昨年度ホームページの全面リニューアルを行い、今年度は、検索性を高められるよう留意しながらイベントページを作成。

特に事前予約が必要なイベントの集客のため、イベントチラシからのリンク先として「事前予約が必要なイベント」ページを作成。一貫性を高めることで各イベントの来場者数の増加につなげた。

サポートオフィスや町田市のホームページからもまちカフェ！専用ホームページにリンクできるようバナーを設置し、まちカフェ！サイトへの流入数を増やす工夫を行った。

▼まちカフェ！クリアファイル



まちカフェ！の認知度を上げるため、表面はまちカフェ！のキービジュアルを、裏面には広告を入れたクリアファイルを3000部作成。広告を入れることで、無料で作成できた。

市内コミュニティセンター等、市内各所に配架。配架したファイルはすぐになくなり、多くの方に手に取っていただけた。

(裏面の広告主：相続手続支援センター／制作：株式会社京せん堂)

Ⅲ. まちカフェ！イベント報告

1 目的と背景

2年間のコロナ下での開催経験を活かして、オンライン、市内各地での分散開催に加えて、3年ぶりに町田市庁舎を利用して各団体主催のイベントが実施された。市役所会場での集合形式のイベントは、参加団体のすそ野を広げることと市民への認知拡大を目的とした。コロナ下でスタートした市内各地での分散開催については、団体の普段の活動を体験してもらうこと、市内で運営している各団体の施設を知ってもらうことを目的とした。

2 イベント概要

11月26日（土）～12月4日（日）の期間に市役所会場にて75件、その他市内各会場およびオンラインにて19件（オンライン2件）のイベントが実施され、全イベントのうち19件が協働事業となった。期間中、総計9,512名が来場した。

(1) 11月26日（土）町田市役所会場イベント

3年ぶりの市庁舎利用は、屋外を含む1階から3階までを使用する終日開催のイベントとしてにぎやかにまちカフェ！開幕を飾った。

朝の準備段階で雨が降ってきたため、屋外出展を屋根の下に移動するなどの対応が必要となった。ゆるキャラ（ゼルビー、さるびあん）も来場し、石阪市長・安倍実行委員長の挨拶、竹灯籠の竹への穴あけという開会式で幕を開けた。

イベント内容が多岐にわたっていたというだけでなく、来場者も多様で、車いすや白杖を使う方、ベビーカーや小さな子供連れのご家族も多く、市役所会場全体にダイバーシティを感じる一日になった。来場者へのマップやチラシ配布、アンケートの収集等を入口受付に、総合案内・相談対応はワンストップロビー中央のコンシェルジュデスクにと分散させたのも効果的であった。

▼開会式（市長挨拶、実行委員長挨拶、市長・実行委員長による竹灯籠「ともにと
もす 100 のあかり」への穴あけ）



▼屋外マルシェの様子（雨を避けて出展）



▼1F 正面入口 高齢者や家族連れにもやさしいゆったりとした空間



▼1F 受付&コンシェルジュデスク



▼1F イベントスタジオ&みんなの広場



▼2F キッズスペース&市民協働おうえんルーム



▼3F アトリウム&上から見た1F ステージ (議場ライブ中継)



(2) 11月26日(土)～12月4日(日) 市役所・市内各地の会場開催イベント

9日間にわたり、市内各地の会場を利用して、各団体が工夫をこらしたイベントを開催。市役所も、2階市民協働おうえんルーム、1階イベントスタジオ及びみんなの広場にて、映画上映やワークショップ、展示などが実施された。参加団体や来場者からは「普段と違う市役所の使い方が新鮮で市役所を身近に感じるきっかけになった」という声が聞かれた。

夜間には、市役所1Fイベントスタジオに展示した竹灯籠を自然エネルギー協議会が提供するソーラーパネルの電気でライトアップし、時間外に訪れた市民にも楽しんでもらった。

▼平日・市役所会場（町田にバイビーシアターを広げる会による講演会とワークショップ）



▼市内各地会場（町田国際交流センターによる「世界のスポーツで遊ぼう」）



▼ 市役所の竹灯籠展示



(3) 協働事業

今年のまちカフェ！テーマにも掲げた「仲間とつくる」が実現し、19件の協働事業が実施された。

<議場企画>

市議会議場を使って、午前にコンサート、午後に講演会が行われた。コンサートの様子は、1階にライブ中継した。

▼左：議場コンサート（協働チームであるオール町田文化芸術祭プロジェクトチームが開催）

▼右：議場講演会（子ども市議会『かわせみのお引越し』キャラバンと町田市ユニカール協会との協働開催）



<ダイバーシティファッションショー>

協働チームである夢 collection MACHIDA 実行委員会が開催。（株）花王がヘアメイク用品や美容部員を協賛し実施。

ワンストップロビーメインステージで、ゆるキャラゼルビー、外国ルーツの方、車いすの方、高齢者など多様な背景のモデルが登場するファッションショーが開催された。モデル、エスコート、ヘアメイクに様々な組織（企業・社会福祉法人）、団体、個人が参画し、実現した。

▼夢コレクション・ダイバーシティファッションショー



<紙ひこうきワークショップ>

地域活動団体 からふい〜、町田一小お父さんネットワーク、コーラスグループセシアとの協働事業として開催。

元・日本航空大学校操縦教官の講師の指導による紙ひこうきワークショップ。完成後は、参加団体、おうえん隊等が協働し、1階ワンストップロビーにて、コーラスをBGMにして紙飛行機を飛ばすセレモニーを実施した。

▼コーラスをバックに、思い思いの飛行機を飛ばしました！



<ぶらんこ町田&町田にバイビーシアターを広げる会>

生活クラブ子育て広場ぶらんこ町田と町田にバイビーシアターを広げる会との協働開催。12月4日(日)生活クラブ館まちだ内にある子育て広場ぶらんこ町田にてバイビーシアターを実施。市役所おうえんルームにてバイビーシアターがイベントを実施した際には、ぶらんこ町田のスタッフが見守りボランティアで参加した。2団体は、まちカフェ！終了後も協働が継続している。

▼当日の様子。お客様の笑顔があふれていました！

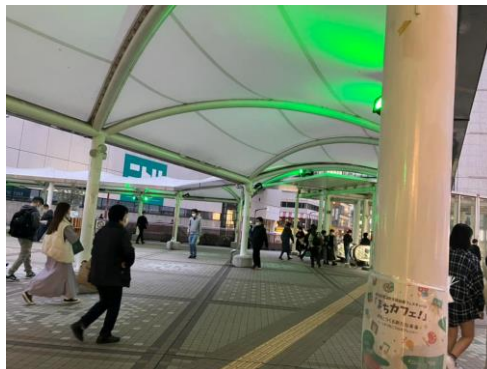


(4) その他

▼今年も町田市役所前の懸垂幕で市民にお知らせ



▼シンボルカラーの緑色で市庁舎と町田駅前ペDESTリアンデッキをライトアップ



▼11/26(土)来場者アンケート回答者と緑のものを身に着けてきてくれた人へのプレゼント企画も大盛況



▼アンケートのプレゼント一番人気は、町田焙煎珈琲様から協賛でご提供いただいた「まちカフェ！ブレンド」



*まちカフェ！開催イベント詳細は別紙資料①「まちカフェ！開催イベント一覧」参照

IV. 実行委員会等実施報告

1 実行委員会会議

実行委員会発足となる第1回会議とまちカフェ！開催の直前に実施した第3回会議は、対面で実施。第3回は、会議終了後、会場となる市庁舎の下見を実施した。また、当日対面での参加ができなかった方を対象に、対面会議を行った翌日の午前中にオンラインで会議の要点をお伝えする「まちカフェ！実行委員会おかわり会」を実施。夜間の会議に参加できない方にも情報を届ける工夫をした。

準備会と第2回会議は、オンラインで昼の部、夜の部を開催。昼の部は、オンライン参加が難しい方はサポートオフィス事務所にお越しいただき、ハイブリッドで開催した。

1月19日(木)には、町田市民文学館ことばらんど大会議室にて「まちカフェ！アワード表彰式&交流会」を開催した。

2 実施要項・出展要項

今年度は、「まちカフェ！実施要項」を作成し、5月の準備会で配布するという新しい取り組みを実施。「まちカフェ！実施要項」では、まちカフェ！の概要と予定されている提出物の締切等を含む全体スケジュールを共有した。

▼実行委員会第1回会議



▼まちカフェ！アワード表彰式&交流会@市民文学館ことばらんど大会議室



*実行委員会開催の詳細は別紙資料②「実行委員会等開催実績一覧」参照

V. まちカフェ！オープンデー＆プチ講座報告

今年度、新たに地域活動のつながりの場として開催した「まちカフェ！オープンデー」。「まちカフェ！オープンデー」は、毎月1回（原則第1木曜日）、市役所2階市民協働おうえんルームにて、事務局（町田市地域活動サポートオフィス）のスタッフが終日対応し、まちカフェ！に関わることやその他通常の地域活動に関する相談にも応じた。市民協働推進課の職員も常駐して、市民活動の動きを把握することで、市役所内での協働推進につながるケースも見られた。また、拠点となる活動場所を持たない団体や、協働プロジェクトの打ち合わせを行う場としても活用された。

▼オープンデーの様子



「Zoom はじめて講座」、「初心者さん向け動画作成講座」、「イベント広報・チラシ作成はじめて講座」を、オープンデー開催日にプチ講座として企画し、飛び入り参加も可能とした。これら定番の講座に加えて、ゲスト講師を迎えての講座や、サポートオフィスの人気企画とのコラボイベントも実施した。5月～12月でのべ207名の参加となった。

▼プチ講座の様子



▼プチ講座のテーマ

5月12日：初心者向け Zoom 講座

6月2日：初心者向け Zoom 講座

7月7日：市役所との協働のコツ* プチ講座&協働なんでも相談会

8月4日：団体の魅力を伝える広報講座 基本の「き」

9月1日：参加したくなるイベントチラシ講座

10月6日：初心者さん向け動画作成講座

11月10日：ワンデイおうえん隊説明会

12月15日：みんなの経験共有会 Vol.7「まちカフェ！やってみた」

1月12日：WAM 助成応募説明・相談会

2月2日：スマホ撮影講座

3月2日：公式 LINE 開設講座

*プチ講座開催詳細は別紙資料③
「プチ講座等@まちカフェ！オープンデー開催実績一覧」参照

VI. 学生おうえん隊実施報告

1 目的と背景

地域活動に参加してみたいと考える学生と、学生と一緒に活動してみたいと考える参加団体をマッチングし、まちカフェ！開催に向けて協働しながら活動に取り組むことを目的として 2020 年度より開始。相原を拠点に地域活動を行う団体へりぽーとが事務局とともに学生・団体の募集、マッチング、学生や団体のサポート、振り返り会の実施などを担当し、学生と団体をつなぐ役割を担った。

2 参加学生と受け入れ団体

・参加学生…18 名

(内訳:桜美林大学 3 年生 4 名、神奈川大学 3 年生 2 名、多摩大学 1 年生 2 名、法政大学 1 年生 2 名・3 年生 2 名、東京造形大学 1 年生 1 名、専修大学 2 年生 1 名・3 年生 1 名、日本大学 3 年生 1 名、高校生 2 名)

・受け入れ団体…9 団体

(団体名:鎌倉古道・歴史遺産の会、NPO 法人クローバーの会、色彩心理グリーンハードラボ、生活クラブ子育て広場ぶらんこ町田、ブラインド IT サポート町田、ホームスタートいずみ、NPO 法人町田演劇鑑賞会、町田国際交流センター、町田市ユニカール協会)

3 実施スケジュール

2022 年	
4 月 22 日	学生おうえん隊・団体募集開始
6 月 27 日	学生×受け入れ団体マッチング会
7 月 4 日	学生おうえん隊交流会
7 月 12 日	受け入れ団体向け交流会
8 月 3 日～26 日	学生おうえん隊と各団体との初顔合わせ
11 月 26 日～12 月 4 日	「まちカフェ！」イベント実施
2023 年	
2 月 26 日	学生おうえん隊×団体×へりぽーとふりかえり会

4 実施内容

<マッチング会>6月27日（月）オンライン開催

当日は受け入れ団体 9 団体に 3 分ずつ団体の紹介や学生とやってみいたいこと等を発表いただき、その後 Zoom のブレイクアウトルーム機能を使って交流会を実施。交流会では、学生・団体がお互い気になることなどを質問しあう場となった。

<学生交流会>7月4日（月）オンライン開催

学生おうえん隊に参加する学生と、そのサポートをするへりぽーとメンバーで集まり、交流を深めた。これから活動をする中で疑問点・不安な点を解消していく場を作った。今年度は学生おうえん隊・へりぽーと・サポートオフィスは kintone を活用して連絡を取り合うこととし、使い方の説明もこの場で行った。

<団体交流会>7月12日（火）オンライン開催

受け入れ団体のみで集まり、交流を深めた。学生を受け入れる準備に向けて、前半は「ワクワク&モヤモヤ共有タイム」と題し、学生を受け入れる上での期待と不安を共有。後半では、学生と団体が初めて顔を合わせる日のプログラムを考えた。

<学生おうえん隊ふりかえり会>2月26日（日）@町田市生涯学習センター

学生おうえん隊と団体が集い、活動の感想や成果を共有する場を実施。前半は学生おうえん隊で印象に残っていること・自身や団体の変化・相手へのメッセージなどを記入する個人ワークを行った。その後、書いた内容をシェアする場を設けた。後半は全員1言ずつ関わった団体や学生に対してメッセージを話していただいた。

<その他：kintone 活用>

今年度は学生・へりぽーと・サポートオフィスの連絡手段として kintone を利用した。連絡にはチャット機能を活用。新たに「活動日誌」というアプリケーションを作成し、学生おうえん隊には、活動をした日時・場所・内容・感じたこと・困ったことなどを記入していただいた。それぞれの活動の進捗状況や困りごとなどを事務局が確認・調整しやすいシステムを構築することができた。



▲6月27日実施 マッチング会の様子



▲2月26日実施 学生おうえん隊ふりかえり会の様子

5 アンケート結果より

「まちカフェ！」学生おうえん隊に参加した学生(回答 6 名)、団体 (回答 6 団体) に実施したアンケートについて、下記に特筆すべき点を記載する。なお、本アンケートは「まちカフェ！」学生おうえん隊の活動を通じて、参加学生・参加団体の協働がどれくらい進捗したかについて確認するとともに、普段とは異なる世代のメンバーと一緒に活動することで得られる効果を検証するために実施した。

実施期間 2022 年 12 月 9 日～12 月 31 日

実施方法 Google フォームを使用

・学生おうえん隊に対する満足度を「満足・どちらかといえば満足・どちらとも言えない・どちらかといえば不満足・不満足」の 5 段階で回答する項目では、学生は満足 5 名 (83%)、どちらかといえば満足 1 名 (17%)、団体は、満足 5 団体 (83%)、どちらかといえば満足 1 団体 (17%) と学生・団体ともに満足する内容となっていた。

・学生おうえん隊の参加学生の 67%は、「NPO や市民活動という言葉は知っていたが、存在や活動については知らなかった」と回答しており、今回の学生おうえん隊がこれまで活動をしていなかった学生の参加のきっかけとなっていることが明らかとなった。

・学生おうえん隊における活動終了後の学生・団体との関わりについて、学生は「今後もボランティア等として継続的に活動に参加したい」1 名(17%)、「イベントのお手伝い等可能な範囲でボランティア等として活動に参加したい」5 名(83%)と、すべての学生が継続して何らかの形で団体に関わりたいと回答。団体は、「メンバーや会員の一人となり今後も継続的に活動に参加してほしい」2 団体(29%)、「自団体のイベントのお手伝い等可能な範囲でボランティア等として活動に参加してほしい」2 団体(29%)と、約 6 割が継続して学生に関わってほしいと回答しており、学生おうえん隊が両者の継続した活動のきっかけの場となっていることが分かった。

<学生の感想 (自由記述欄)>

・企画の発案や運営等、団体の内部の仕事に携わることで、NPO 団体さんが普段やっていることを身をもって知ることができ貴重な経験を得ることが出来たと思います。今後もこの繋がりを大切にしていきたいです。

・皆さんの豊かな知識や活動に対する思い、学生応援隊の私たちの意見をどんどん取り入れて活動を広げていこうとされる積極的な姿勢に感銘を受けました。またその中で本当に多くのことを学ばせて頂いたと思います。

<団体の感想 (自由記述欄)>

・団体メンバーのみならず、まちカフェ！時のイベントに参加したシニア世代の方々から、若い世代とのコミュニケーションが進み楽しかったという感想が多く聞かれた。日頃から若い方々に活動に参加してほしいと思ってもなかなかきっかけがつかめない、学生おうえん隊のような活動を通して学生ボランティアさんとのつながりが持てるようになるのは大変ありがたい。

Ⅶ. ヒアリング報告

1 目的と背景

- ・まちカフェ！実施報告アンケート回答団体の内、初参加団体／複数回参加団体/協働事業実施団体／学生おうえん隊受け入れ団体からのアンケート回答結果の中で特に確認したい事項がある 10 団体を選択して実施。
- ・以下 3 点についての情報収集を目的として実施した。
 - ・自団体の活性化に向けて、まちカフェ！をどう活用したか
 - ・本年度のまちカフェ！についての感想
 - ・次年度以降のまちカフェ！に向けての提案

2 ヒアリング対象団体・日程

	開催日時 場所	団体
1	1月31日・オンライン	アートネット町田
2	1月31日・オンライン	アマタメ企画
3	2月1日・オンライン	町田にバイビーシアターを広げる会
4	2月2日・町田市役所	ライフバターたまり場
5	2月6日・オンライン	町田市ユニカール協会
6	2月6日・オンライン	コレクティブハウジング社（まちのもり本町田）
7	2月7日・町田市民フォーラム	まちだ語り手の会
8	2月8日・サポートオフィス	町田自然エネルギー協議会
9	2月17日・オンライン	ぶらんこ町田
10	2月24日・OMUSUBi 拠点	OMUSUBi

3 ヒアリング結果

(1) ヒアリング内容抜粋

●協働のコツ

<学生との協働>

- ・学生が主体的に企画提案できる場づくりが大切。初顔合わせの時に最初に「失敗は大歓迎！何が正しいかはみんなわからない」ということを伝えたことで、学生たちが主体的に話せる雰囲気生まれた。
- ・団体のビジョンをしっかりと伝え、団体メンバーが想いを語る。その後学生の想いも聞く時間をとる。それらの時間をしっかりとることで学生が企画する際の方向性が定まる。
- ・受け入れ団体同士の交流会で「顔合わせの際にお互いの呼び方を決めておくといい」という助言があったので、初回の打ち合わせでお互いの呼び方を決めることにした。打ち解けることができ、効果的だった。
- ・担当スタッフ以外のスタッフや利用者にも積極的に紹介して、学生のことを認知してもらおうようにする。
- ・初回は、工作のワークショップなど楽しみながら団体を理解してもらおう企画を行うように準備している。
- ・学生を受け入れて活動内容を知っていただくことで、若い世代に「こういう社会課題、こういう活動が地域にある」ということを伝える第一歩になる。そのこと自体が学生を受け入れる成果と感じた。

<他団体との協働>

- ・まちカフェ！終了後にも協働が続いている。お互いの強みを活かしあえる関係性を創ることが大事。
- ・多忙な団体との協働は、コミュニケーション手段を早く確立しておくことが必要。1回目の打ち合わせでLINE交換してコミュニケーションをとり、大事な場面では直接会って相談をした。
- ・まちカフェ！のイベントでは協働しなかったが、実行委員会で知り合って互いに訪問して情報交換を進めている。拙速ではなく長期的な視点で取り組むことも大事。
- ・実行委員会で隣の席だった縁で協働事業につながった。実行委員会への出席が協働のきっかけとなる。
- ・他団体の活動内容がより具体的に理解できれば協働が広がるのではないか。

●まちカフェ！企画を成功に導く TIPS

<オンラインツールの活用>

参加費は、事前に Peatix※で前払いとしたら、当日キャンセルが少なかった。

※Peatix はイベントの開催、集客に使える Web サイト。カード決済等の決済、チケット付与なども行える。

<まちカフェ！の信頼性公共性を活用>

- ・市役所会場で実施する、市役所との共催事業であるまちカフェ！で実施するということが信頼獲得につながる。自団体の企画の広報の際にもその名前を積極的に活用すると良い。
- ・まちカフェ！で実施するイベントと説明することで普段チラシの配架ができない場所も配架することができた。
- ・まちカフェ！企画を機に、関係する市役所の部署などにもっと積極的に連絡して後援依頼などをとればよかった。
- ・自団体のイベントの周知の際にまちカフェ！のことも周知したほうがよかった。全体像を理解しないで来た参加者もいた。

<まちカフェ！参加を団体の活動において戦略的に活用>

- ・長期スパンで戦略的に活用するため1年ずつ関わるメンバーを広げる。小さく実施して必要な準備を理解し、次年度発展させる。

<準備は大事>

- ・会場下見は重要。
- ・広報を計画的に実施した。

●まちカフェ！への提案

- ・SDGs「つくる責任つかう責任」という視点の導入。ごみを出さないイベントをめざすのが良い。（例：森ノオト主催「青葉を食べるマルシェ」@藤が丘駅前。リユース食器を貸し出し。デポジットを預かり、古布でふいて返却すると戻るしくみ）
- ・自然エネルギーの活用。グリーンキャスティングという方法がある。JWAVEなどが導入し、グリーンキャスティングデイという取り組みをしている。
- ・テキストデータの取り扱いについて。視覚障がい者にとって Google フォームは音声読み取りで読み取れず不便なのでテキストデータでほしい。

- ・ SNS やホームページに掲載する写真に「代替テキスト」を入力すると視覚障がい者も写真の説明が読めるのでぜひ取り組んでほしい。
- ・ まちカフェ！自体の認知を高める工夫をすると良い。さらに多くの方へのチラシの配布やイベントをわかりやすく説明する言葉、キャッチコピーの採用など。
- ・ 実行委員会開催時のテーブルが地域別だと団体同士がつながりやすい。
- ・ 申込書等の様式がいつでもダウンロードできる仕組みがあると良い。

(2) ヒアリングから考察した 2023 年度にまちカフェ！で導入を検討する事項

<認知拡大>

- ・ A4 1 枚のまちカフェ！概要のみを掲載した簡易版チラシを作成、学校等での配布を強化。
- ・ まちカフェ！がどのようなイベントかよりわかりやすく説明する一言（キャッチコピー）を実行委員会で検討。

<様式ダウンロード>

- ・ Google ドライブ等を活用し、団体が様式をいつでもダウンロードできるようにする仕組みの導入。

<協働の促進に向けた参加団体を知る場の開催>

- ・ 参加団体の活動が具体的にイメージできるように、まちカフェ！オープンデー等を活用し団体の講座やワークショップを実際に体験してもらう機会の開催。
- ・ 実行委員会で活動エリアが近い団体が知り合える機会の創出。

<SDGs の視点>

- ・ リユース食器の導入。
- ・ できる限り使い捨てにしない工夫（継続使用できる看板等の作成）。
- ・ 昨年度のまちカフェ！オリジナルクリアファイル持参者に記念品を贈呈する等、“捨てない”を啓発する取り組みの導入。
- ・ エコ電源の使用。

<会議室・備品等の情報提供>

- ・ 2022 年度の実施内容を共有するなど会議室、備品の情報提供の具体化。

- ・当日、隣接する会議室を利用する団体同士で備品を融通するなどの声かけの実施。

<その他>

- ・Google フォームによる申し込みの際には、同内容をテキストでも展開する。
- ・その他情報発信におけるバリアフリー対応を心がける。

(3)ヒアリング対象団体に「まちカフェ！を一言で表現するのであれば？」という質問を投げかけたところ、下記の言葉をいただいた。次年度広報等に活用予定。

- ・チャレンジの一步ができるのがまちカフェ！。自団体だけではできなかった規模の企画に挑戦ができた。実行委員会で、いろいろなテーマの団体と出会えることも魅力。一団体では、やるのが怖いことも、みんなの協力があるからこそできる。
- ・つながる。人とつながる、自分の発見につながる。
- ・とりあえずなんか一緒にやりませんか？ 自分の知らないことを知るきっかけになる異文化コミュニケーションの場です。
- ・サポートが手厚いから、活動の最初の一步を踏み出しやすいのがまちカフェ！
- ・気軽に挑戦できるファーストステップの場
- ・心配ごとモヤモヤもみんなでも共有し解決できる土壌があるのがまちカフェ！
- ・まちカフェ！は何かやりたい方・団体にとっての宝箱。宝物を見つける場所
- ・人生の宝物さがし。毎日の楽しい！が見つかる場
- ・ダメ元でこれやりたい！と言ったことがまちカフェ！で実現しました！ダメだと思っても声に出して試みるのが大切です。まちカフェ！ではぜひ無理難題を声にしてみてください♪
- ・自分ひとりだけではなく、参加団体みなさんの仲間、全力でサポートしてくれる事務局がいます。町田で地域活動を始めてみようと思っている方にとっては、まちカフェ！をやる理由はない！
- ・気楽に安心していける場所がまちカフェ！つながっていきましょう！